



# 弾道ミサイル落下時の 行動について

弾道ミサイルは、発射からわずか10分もしないうちに到達する可能性もあります。ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、国からの緊急情報を瞬時に伝える「Jアラート」を活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール等により緊急情報をお知らせします。

## ①速やかな避難行動

## ②正確かつ迅速な情報収集

行政からの指示に従って、落ち着いて行動してください。



国民保護ポータルサイト  
武力攻撃やテロなどから身を守るために



事前に確認しておきましょう。  
[http://www.kokuminhogo.go.jp/gaiyou/shiryu/hogo\\_manual.html](http://www.kokuminhogo.go.jp/gaiyou/shiryu/hogo_manual.html)

—— ミサイル落下時には、こちらから政府の対応状況をご覧になれます ——



首相官邸  
ホームページ  
[www.kantei.go.jp/](http://www.kantei.go.jp/)



Twitterアカウント  
首相官邸災害・危機管理情報  
**@Kantei\_Saigai**



**Jアラート**（例）直ちに避難。直ちに避難。直ちに建物の中、又は地下に避難してください。ミサイルが、●時●分頃、●●県周辺に落下するものとみられます。直ちに避難してください。

メッセージが流れたら

落ち着いて、直ちに行動してください。

屋外に  
いる場合

近くの建物の中か  
地下に避難。

(注) できれば頑丈な建物が望ましいものの、近くになれば、それ以外の建物でも構いません。

建物が  
ない場合

物陰に身を隠すか、  
地面に伏せて頭部を守る。

屋内に  
いる場合

窓から離れるか、  
窓のない部屋に移動する。

近くに  
ミサイル  
落下！

- 屋外にいる場合：口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。
- 屋内にいる場合：換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。

**台風シーズンを迎えます！**  
 風水害に備えて事前対策のポイント！

危機管理課  
 防災基地渉外係  
 TEL 979-6760

台風や豪雨などによる風水害は、対策によって被害を最小限に止めることができます。気象情報に十分注意し、早めの備えを心がけましょう。

**台風から住まいや身を守る！**

沖縄地方に近づく台風は、最も勢力が強くなったり、移動速度が遅くなったりするため沖縄地方では長時間、台風の影響を受ける場合があります。

台風災害の防止・軽減には普段からの備えと早めの台風対策を行い、台風接近時においては、常に最新の台風情報を入力し、不用不急の外出を控えましょう。

**台風が接近したら、必ず家の補強を！**

強風で飛散したものが近所の家や車等を壊した場合、トランプの原因になりますので、雨戸・窓ガラス・塀・アンテナ

令和3年5月20日から

ひなんしじ  
**避難指示で必ず避難**

ひなんかんこく  
**避難勧告は廃止です**

警戒レベル  
**4**

警戒レベル	新たな避難情報等	これまでの避難情報等
5	きんきゅうあんぜんかくほ <b>緊急安全確保</b> ※1	災害発生情報 (発生を確認したときに発令)
4	ひなんしじ <b>避難指示</b> ※2	・避難指示(緊急) ・避難勧告
3	こうれいしゃとうひなん <b>高齢者等避難</b> ※3	避難準備・ 高齢者等避難開始
2	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	早期注意情報 (気象庁)	早期注意情報 (気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。  
 ※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。  
 ※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

ナ・看板・外まわりの生活用品等を予め堅固に固定しておきましょう。

**停電や断水に備え、非常用品のチェック！**

食料・飲料水・懐中電灯・ラジオ・ライター・簡易な衣料品などのチェックを行いましょう。

**無理は禁物！**

風雨が強くなってから対策を始めるのは危険がともないです。台風の接近が予測されたときには早めに準備をしましょう。

**局地的大雨から身を守る！**

近年、線状降水帯の発生等により、河川や排水溝などの思わぬ場所で急激な増水(鉄砲水)被害が発生する可能性があります。これら急激な増水(鉄砲水)を事前に予測す

ることは困難ですが、「付近に黒い雲があり周辺で大雨が降っている」「周辺で雷が聞こえる」などの現象を確認した場合、上流で雨が降っている可能性があるので、河川や排水溝等の場所から離れましょう。

また、このような場所で子供が遊んでいる場合は、地域で声を掛け合い、子供たちを危険から守りましょう。

**大雨や洪水などの警報と注意報について！**

市町村ごとに発表されます。注意報や警報に注意しましょう。また、洪水などの場合は、高いところに避難して救助を待ちましょう。

**土砂災害警戒区域・がけ近くは、土砂災害に注意！**

土砂災害の前兆として、「小石がパラパラ落ちる」「地面にひび割れができる」「斜面から濁った水が流れ出る」「腐った土の臭いがする」など、これらの現象を発見したら注意しましょう。

**避難の心得！**

大雨等の風雨の影響により、倒壊や浸水、土砂崩れなどの不安がある方は最寄りの避難所(役所本庁舎)あるいは親類宅などへ早めに避難しましょう。避難する時は食料、毛布、常備菜などは自分で用意しましょう。

また、台風接近の際、暴風警報等が発令された場合、役所本庁舎・石川地区公民館・勝連地区公民館・平安座公民館を避難所として開設する予定であります。安全に配慮し、最寄りの避難所へ避難しましょう。



避難に時間のかかる  
**高齢者や障害のある人は、警戒レベル3高齢者等避難で危険な場所から避難**  
 しましょう。

避難勧告は廃止されます。  
 これからは、  
**警戒レベル4避難指示で危険な場所から全員避難**  
 しましょう。

警戒レベル5は、  
 すでに安全な避難ができず  
 命が危険な状況です。  
**警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはいけません！**